あらかわ産業Navi［ナビ］

第100号 9/21
発行／荒川区産業経済部　〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3
TEL:3802-4672 FAX:3803-2333 E-mail:sangyo@city.arakawa.tokyo.jp URL:http://www.city.arakawa.tokyo.jp/

創刊100号 記念特集

～未来へ前進し進化する あらかわの産業～

「産業革新都市」への歩み

「あらかわ産業ナビ」は、区内の事業者に、産業活性化・就労支援・観光振興をはじめとする様々な情報を発信してきました。第 100 号を発行するにあたり、区内産業のさらなる発展を期して、これまでの足跡と成果を振り返ってみます。

発行号（平成年月）	主な記事の概要
1 号（20 年 6 月）	「あらかわ産業ニュース」を「あらかわ産業ナビ」に改称 荒川を元気づける新たな動き～ MACC プロジェクト 区と中小機構が連携「街元気セミナー in 荒川」を開催
6 号（20 年 11 月）	区と山形大学工学部が連携協定
7 号（20 年 12 月）	「日暮里コレクション 2008」を開催 デザインコンテストの審査・表彰と「中国大連コレクション in 日暮里」の同時開催
9 号（21 年 2 月）	「荒川区発、宇宙へ！」～都立産業技術高専が小型衛星打ち上げ
13 号（21 年 6 月）	奥の細道紀行 320 周年記念「カードラリー」28 自治体参加
28 号（22 年 9 月）	中国「大連国際ファッション祭」に 日暮里ファッションショーが参加
37 号（23 年 6 月）	区内に広がる被災産地の支援活動～被災地の応援イベント～
40 号（23 年 9 月）	都電荒川線 100 周年記念イベント
43 号（23 年 12 月）	中国、タイ、ウクライナの視察団が「モノスポ」を視察
50 号（24 年 8 月）	区と中小企業庁、 「ちいさな企業未来会議」を開催
51 号（24 年 8 月）	「荒川区新製品・新技術大賞」を創設、募集開始
58 号（25 年 3 月）	23 区初の「街なか商店塾」が反響を呼ぶ
60 号（25 年 5 月）	「荒川区ビジネスプランコンテスト」を創設、募集開始
61 号（25 年 6 月）	「区内製造業の実態調査」を実施
62 号（25 年 7 月）	国家公務員の新人研修、 荒川区内企業で実地研修
79 号（26 年 12 月）	急告！「原材料・エネルギー高緊急対策融資」をあっせん
80 号（27 年 1 月）	都産技研の見学ツアー 「3D ものづくりのイマ」を視察
85 号（27 年 6 月）	「子育て女性」の就労をサポートする専門相談窓口を開設
91 号（27 年 12 月）	荒川区・中小機構業務提携 10 周年記念「日暮里経営セミナー」を開催
92 号（28 年 1 月）	MACC フォーラム～産学連携はおもしろい～を開催
97 号（28 年 6 月）	女性経営者の会「サンアス会」が発足
98 号（28 年 7 月）	国内最大級の「機械要素技術展」に区と区内企業が共同出展

あらかわの下町情緒豊かなにぎわいと、産業活力を象徴するイベント

「川の手荒川まつり」&「商業祭」

毎年5月号で開催状況を紹介し、28年5月号では7万人強が来場した「第30回川の手荒川まつり」「第37回商業祭」の記事を掲載。

「機械要素技術展」

28年7月号で国内最大級のものづくり関連産業展「機械要素技術展」に、区と区内企業が共同出展した記事を掲載。

23 区内で初の「街なか商店塾」

〈25年3月号〉23区初の商業振興イベント「街なか商店塾」を実施。下町商店街を象徴するイベントが全国的にも注目を集めました。

創設 10 周年の MACC プロジェクト

〈28年1月号〉産業振興の柱となるMACCプロジェクトは、今年で創設10周年を迎えました。この間、産学公金の連携や区独自の多様な事業を展開し、モノづくり産業に様々なインパクトを与えています。

あらかわの魅力づくり

〈27年4月号〉再開発を機に南千住駅前の様相が一変。「俳句のまち・あらかわ」を象徴とする芭蕉像が建立され、新たな観光資源として地域活性化に貢献しています。

あらかわの産業を支えるひと・しごと

〈27年6月号〉平成24年4月に「あらかわ就労支援センター」、27年6月には「子育て女性のおしごと相談デスク」の開設などにより、産業を支える若者、子育て女性の就労機会の拡充に取り組みました。

あらかわ産業ナビ 第 100 号 発行にあたって

荒川区長・特別区長会会長
西川　太一郎

昭和63年に区と区内産業を結ぶ架け橋として創刊された「情報プラザ」は、28年間綿々と受け継がれ、「あらかわ産業ニュース」そして平成20年に「あらかわ産業ナビ」と改称し、商工業界の潮流をキャッチして、新鮮な情報を区内事業者のみなさまにお伝えしてきました。今般、創刊１００号を迎えることができましたのも、ひとえに区民の皆さまのご理解とご協力の賜物と改めて御礼を申し上げる次第でございます。

私は区長就任以来、産業革新都市の実現に向けて全力で取り組んで参りました。例えば、ＭＡＣＣプロジェクトによる数多くの新製品開発や「あすめし会」、「第2あすめし会」、さらには女性経営者の「サンアス会」等による若手経営者の育成、小規模補助金による経営力の強化を進めています。また、商店街の支援に加え「街なか商店塾」、「あらかわ逸品の会」等により、魅力あふれる個店づくりを進めています。さらに、通常の就労支援に加え、日暮里の専門ハローワークと連携して若者・女性の就労サポートに力を入れています。一方、東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、区の魅力を強く発信し、国内外の旅行者を区内に誘客する事業も進めています。

これからも区民の皆さまと手を携え、地域経済の活性化、魅力あるまちづくりを加速させて参ります。

あらかわのモノづくり　新たな潮流

中小機構との連携は 12 年目、新たなステージへ

平成 17 年 6 月に国の総合的な中小企業支援機関である（独）中小企業基盤整備機構（中小機構）と業務連携を締結し、区内の中小企業ニーズに適したセミナーや研修、イベントなどを展開することにより、経営基盤の強化や事業革新を促進し、区内企業や地域産業の活性化に取り組んできました。

「あらかわ経営塾」で次世代経営者を育成

23 号（22 年 4 月）	5 期生が研修修了、6 期生募集
毎年 5 月号で、研修の修了と新年度の塾生募集記事を掲載	
84 号（27 年 5 月）	10 期生が研修修了、11 期生募集
96 号（28 年 5 月）	11 期生が研修修了、12 期生募集 修了者は延べ 95 社・106 人

20年度「あらかわ経営塾」の修了式。塾生は現在、区内企業の経営トップとして活躍中

「日暮里経営セミナー」で課題解決法を学ぶ

毎年 4 回、区内企業の経営基盤の強化に役立つ「中小企業のためのセミナー」を定期的に開催し、その内容を掲載して紹介

27 号（22 年 8 月）	生産革新セミナー「トヨタ生産方式」
39 号（23 年 8 月）	危機管理セミナー
63 号（25 年 8 月）	生産革新セミナー「スマート 5S の推進」
79 号（26 年 12 月）	資金調達セミナー
91 号（27 年 12 月）	業務提携 10 周年記念「事業承継セミナー」
99 号（28 年 8 月）	人材育成セミナー「中核人材の育成」

危機管理をテーマにした東日本大震災直後の「日暮里経営セミナー」

創設 10 周年の MACC プロジェクト

区内企業など 95 社が参加する一大組織に成長

MACC（荒川区モノづくりクラスター）プロジェクトは、モノづくりの街として発展してきた区の産業集積や地域資源を活かし、未来への新たな展望を拓くため新製品開発や様々な事業を実施してきました。

参加企業数は、平成 19 年 7 月末の 51 社から 28 年 7 月末は 95 社に増加

分科会、研究会の設置と活動

5 号（20 年 10 月）	若手経営者・後継者の会「あすめし会」 （明日の飯の種をつくる会）発足
20 号（22 年 1 月）	「健康福祉ビジネス研究会」発足
47 号（24 年 4 月）	「グローカルビジネス研究会」発足
24 年 4 月から「あすめし会」は自主運営を開始	
50 号（24 年 7 月）	第 2 あすめし会」発足
28 年 4 月から「第 2 あすめし会」は自主運営を開始	
97 号（28 年 6 月）	女性経営者の会「サンアス会」発足

24年秋の中小企業総合展に出展した「あすめし会」

「顔の見えるネットワーク」を広げ、新たな流れを起こすフォーラムやセミナーを開催

5 号（20 年 10 月）	第 3 回フォーラム「首都大学東京と連携」
30 号（22 年 11 月）	第 5 回フォーラム「山形大学工学部と連携」
44 号（24 年 1 月）	第 6 回フォーラム「新製品開発のコツ」
53 号（24 年 10 月）	セミナー「アイデアを引き出す秘訣」
57 号（25 年 2 月）	第 7 回フォーラム「連携すれば文殊の知恵」
66 号（25 年 11 月）	第 8 回フォーラム「企業と専門家のマッチング」
82 号（27 年 3 月）	第 9 回フォーラム「WOMEN'S NETWORK」
89 号（27 年 10 月）	セミナー「マイナンバー制度対応」
92 号（28 年 1 月）	第 10 回フォーラム「産学連携虎の巻」

このほか、工場見学会やイベント参加などモノづくり産業を振興する多様な事業を実施。今年の MACC 創設 10 周年を節目に、次の 10 年を見据えた展開へと取り組みを進化させることになります。

女性限定フォーラム「WOMEN'S NETWORK」

産学公金の連携による多面的な支援を展開

山形大学工学部と荒川版支援を展開

6 号（20 年 11 月）	区と山形大学工学部、連携協力協定を締結
13 号（21 年 6 月）	産学連携拠点「荒川サテライト」を設置
17 号（21 年 10 月）	シンポ「いまこそ変化のとき」開催
30 号（22 年 11 月）	MACC と連携～地域産業活性化へ
33 号（23 年 2 月）	オープンカレッジ「活路を拓く経営」開催
98 号（28 年 7 月）	「目利き」育成の産学公金の支援事業

【17号】

第2回「荒川区新製品・新技術大賞」の受賞者

第2回「荒川区ビジネスプランコンテスト」の受賞者

明日を拓く！イノベーション

荒川区新製品・新技術大賞

51 号（24 年 8 月）	「荒川区新製品・新技術大賞」を創設
56 号（25 年 1 月）	第 1 回決定～ 9 社・9 件が受賞
81 号（27 年 2 月）	第 2 回決定～ 6 社・6 件が受賞
99 号（28 年 8 月）	第 3 回の募集開始

荒川区ビジネスプランコンテスト

60 号（25 年 5 月）	「荒川区ビジネスプランコンテスト」を創設
70 号（26 年 3 月）	第 1 回決定～ 3 社・3 件が受賞
94 号（28 年 3 月）	第 2 回決定～ 3 社・3 件が受賞

荒川区・板橋区・北区合同
首都大学東京健康福祉学部産学交流会

近年、高齢者や障がい者の暮らしを支える「健康・福祉ビジネス」が注目されています。市場のニーズや製品開発のヒント等に関し、大学と企業が連携した実例を踏まえた講演会を開催します。
大学の教員や近隣区の企業との交流を図る絶好の機会です。ぜひご参加ください。

【日　時】 12月3日(火)
産学交流会：午後2時～午後5時20分
交　流　会：午後5時30分～午後7時
【会　場】 首都大学東京健康福祉学部(東尾久7-2-10)
【定　員】 50人(先着順)
【費　用】 無料。ただし交流会参加の方は2,000円
【申込み・問合せ】 経営支援課産業活性化係
TEL （3802）4683
※申込みは、11月25日(月)までです。

【66 号】

首都大学東京、都立産業技術高等専門学校、都立産業技術研究センターとも連携

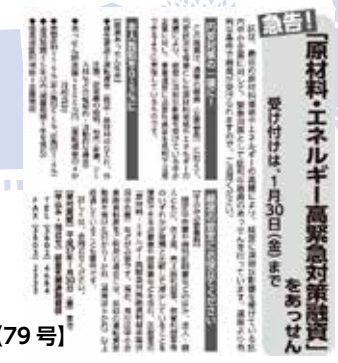
20 年 4 月、区と都立産業技術高専が連携協定を締結	
24 年 2 月、区と首都大学東京が産学公連携協定を締結	
14 号（21 年 7 月）	都産技研「産学交流会」開催
37 号（23 年 6 月）	首都大学東京「放射線を正しく理解する」講座を開催
44 号（24 年 1 月）	都産技研の新本部見学ツアー
66 号（25 年 11 月）	首都大学東京「荒川区・板橋区・北区交流会」
80 号（27 年 1 月）	7 区共同で「都産技研施設見学会」を実施
27 年 3 月に都産技研、東京電機大学、東洋大学と連携協定を締結	

TASK プロジェクトに参加し広域連携を促進

TASK（台東・荒川・足立・墨田・葛飾）の 5 区が広域的に連携して、ものづくり産業を盛り上げる事業を展開し、地域経済の活性化を図っています。

9 号（21 年 2 月）	第 3 回「TASK ものづくり大賞」荒川企業 5 社が受賞
63 号（25 年 8 月）	第 1 回「TASK 交流会」 ～下町 5 区のものづくりとデザイナーの連携～
69 号（26 年 2 月）	第 8 回「TASK ものづくり大賞」荒川企業 1 社が受賞
75 号（26 年 8 月）	第 2 回「TASK 交流会」 ～製造業とデザイナーのマッチング～
81 号（27 年 2 月）	第 9 回「TASK ものづくり大賞」荒川企業 4 社が受賞
87 号（27 年 8 月）	第 3 回「TASK 交流会」 ～製造業とデザイナーのコラボ～
93 号（28 年 2 月）	第 10 回「TASK ものづくり大賞」荒川企業 5 社が受賞 ～うち 1 社が「大賞」を受賞～

広域的な異業種交流の場でもある「TASK 交流会」



【79 号】

中小企業ニーズに応える資金支援！

経済の環境変化にも迅速に対応

2 号（20 年 7 月）	原油高騰で緊急融資
6 号（20 年 11 月）	中小企業の資金繰りを緊急支援
38 号（23 年 7 月）	「震災・節電対策緊急融資」あっせん
72 号（26 年 5 月）	利用者の負担金利等を引き下げ
79 号（26 年 12 月）	急告！原材料・エネルギー高緊急対策融資あっせん
97 号（28 年 6 月）	新規「夏季資金融資」を受付開始

区内小規模事業者の設備投資等の支援も強化

平成 26 年度に「小規模事業者経営力強化支援事業補助金」を新設。27 年度から 4 つの補助項目に拡充して資金支援を強化、28 年度も継続し、その活用例を記事で紹介。

あらかわのチカラ　ひと・しごと支援の広がり

就労と雇用を全力応援

46 号（24 年 3 月）	町屋に「あらかわ就労支援センター」を開設 ～就労支援課を新設～
49 号（24 年 6 月）	若者向け就労支援事業を開始
85 号（27 年 6 月）	子育て女性の就労サポート事業を開始

区は町屋、国は日暮里に支援拠点を設置

52 号（24 年 9 月）	区は、町屋で運営する「あらかわ就労支援センター」において、さまざまな就労支援事業を実施。若者就労サポートデスクの相談日を拡大
77 号（26 年 10 月）	国（厚生労働省）は、日暮里に若者を対象にした「日暮里わかものハローワーク」、子育て女性を対象にした「マザーズハローワーク日暮里」を開設

産業功労者を表彰

毎年 11 月号（一部 12 月号）で、区の産業発展に尽力された方々や事業所の功績を称える「荒川区産業功労者表彰」の式典とその内容を紹介しています。

荒川マイスターは延べ 73 人に

4 号（20 年 9 月）	荒川マイスター制度の創設 15 周年を祝う

毎年 11 月号に掲載する「荒川区産業功労者表彰」と合わせて、区が認定し、表彰したマイスターの方を紹介。6 年度から 27 年度までに認定された「荒川マイスター」は 73 人。

また、厚生労働大臣が認定する「現代の名工」や、東京都知事が認定する「東京マイスター」の表彰も適時掲載。

社会貢献活動を行った学生の就職活動を支援

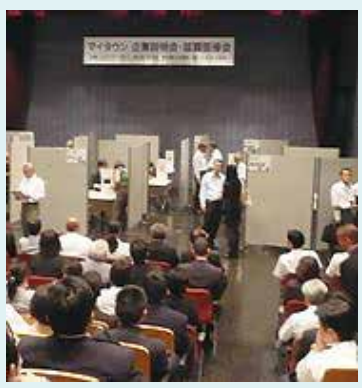
51 号（24 年 8 月）	大学・大学院生や卒業後 3 年以内の方を対象に「荒川区青年社会貢献活動認証制度」を実施
78 号（26 年 11 月）	頑張っている学生の就職を応援
90 号（27 年 11 月）	「アラカワ・ユース・ボランティア認証制度」の候補者を募集開始

次の世代を担う若者の活躍を紹介

72 号（26 年 5 月）	区内で活躍する元気な若者を紹介する新企画「人キラリ～現場に立つ新世代」をスタート。 100 号までに 20 人を紹介

就職面接会の参加企業を募集

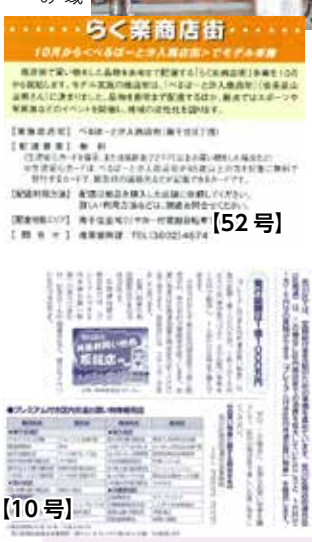
企業の人材確保と就業者の増加を図るため、毎月、荒川区、ハローワーク足立、足立区の共催により、「就職面接会」を開催しています。「あらかわ産業ナビ」では、「区内の参加企業の募集」に係る記事を掲載しています。


22 年 9 月開催の「マイタウン就職面接会」

27 年度「産業功労者」表彰式

24 年 6 月開催の「女性向け就労支援セミナー」

あらかわのにぎわい 商業活性化への展開

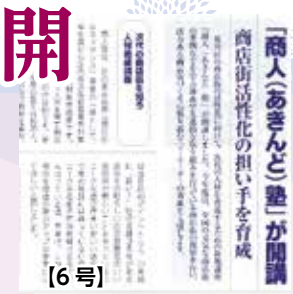


「商店街ルネッサンス」の取り組みを軸に

1 号（20 年 6 月）	街元気セミナー in 荒川「商店街活性化セミナー」開催
22 号（22 年 3 月）	商業セミナー「魅力ある店舗・商品の PR 法」の開催
32 号（23 年 1 月）	商業セミナー「売り上げを伸ばすコツ」の開催
38 号（23 年 7 月）	商店街・事業所の節電強化の取り組みを支援
44 号（24 年 1 月）	商業セミナー「 POP 広告作成講座」の開催
45 号（24 年 2 月）	区内商店街の節電対策「進む！ LED 化」
52 号（24 年 9 月）	荒川区・台東区の商店街が連携 ～イベントの共同開催～
	「らく楽商店街」モデル事業 ～べるぽうと汐入商店街～
64 号（24 年 9 月）	「らく楽商店街：モデル事業 ～ふれあい CITY おぐぎんざ～
68 号（26 年 1 月）	お店を引き立てる！ 「色彩セミナー」開催
73 号（26 年 6 月）	商業事業者訪問支援事業（商業調査） ～商業活性化に向けた経営支援～
80 号（27 年 1 月）	商業セミナー「お店の魅力をアップ」の開催
	都立荒川商業と商店街が連携 ～東京女子医大通り宮前商店会、小台大通り商店街振興組合
83 号（27 年 4 月）	商業調査の結果報告
89 号（27年10月）	地域活性化拠点「熊まねき堂」が始動 ～はっぴいもーる熊野前商店街の新事業
93 号（28年 2月）	区と東京商工会議所荒川支部「商業セミナー」 ～外国人観光客を呼び込む！おもてなしメソッド～

プレミアム付きお買い物券の発行で消費を喚起

10 号（21 年 3 月）	初の「プレミアム付き区内共通お買い物」の発行～ 10%のお得です～プレミアム分は区が補助
18 号（21 年 11 月）	10%の「プレミアム付き区内共通お買い物券」の発行
42 号（23年 11 月）	荒川区商店街連合会　創立 60 周年記念 10%の「プレミアム付き区内共通お買い物券」の発行
54 号（24年 11 月） 78 号（26年 11 月）	10%の「プレミアム付き区内共通お買い物券」の発行
84 号（27年 5 月）	20%お得です！「プレミアム付き区内共通お買い物」の発行（国・都補助活用）
90 号（27年 11 月）	第 10 弾「10%プレミアム付き区内共通お買い物券」の発行



「商人（あきんど）塾」で勉強し次の展開を生む

6 号（20年 11 月）	「商人（あきんど）塾」を開講 ～「商店街ルネッサンス事業」の一環として、平成 20 年度から商店街活性化の担い手となる人材育成講座～
29 号（22年 10 月）	商人塾「個店の繁栄から始まる商店街の活性化」を実施
32 号（23 年 1 月）	商人塾「元気な大山商店街を研究」を実施
44 号（24 年 1 月）	商人塾「まちゼミの取り組みに学ぶ」を実施

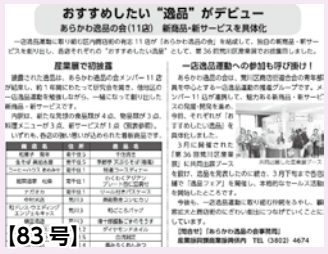
下町商店街の評判を高めた「街なか商店塾」

56 号（25 年 1 月）	第 1 回「街なか商店塾」（予告）
58 号（25 年 3 月）	反響呼んだ「街なか商店塾」実施～ 32 店・44 講座
64 号（25 年 9 月）	第 2 回「街なか商店塾」実施～ 49 店・71 講座
66 号（25年 11 月）	街なか商店塾の勉強会と参加募集
70 号（26 年 3 月）	第 3 回「街なか商店塾」実施～ 39 店・57 講座
76 号（26 年 9 月）	第 4 回「街なか商店塾」実施～ 35 店・55 講座
82 号（27 年 3 月）	第 5 回「街なか商店塾」実施～ 30 店・47 講座
88 号（27 年 9 月）	第 6 回「街なか商店塾」実施～ 33 店・56 講座
94 号（28 年 3 月）	第 7 回「街なか商店塾」実施～ 31 店・50 講座
98 号（28 年 7 月）	第 8 回「街なか商店塾」（予告）～ 34 店・61 講座

テレビ番組の取材を受け、放映される講座も

「一店逸品運動」の新商品もデビュー！

65 号（25年 10 月）	第 1 回勉強会「成功事例に学ぶ一店逸品運動」を開催
66 号（25年 11 月）	第 2 回勉強会「お客を引き付ける一店逸品運動」を開催
68 号（26 年 1 月）	あらかわ「一店逸品運動の会」が発足、さらに参加者募集
83 号（27 年 4 月）	「あらかわ逸品の会」（11 店）がデビュー、逸品を商品化
84 号（27 年 5 月）	一店逸品運動の勉強会、さらに参加者募集
95 号（28 年 4 月）	「あらかわ逸品の会」（12 店）が荒川区産業展に共同出展



魅力ある店舗づくりと新たな成長への店舗改革も！

3 号（20 年 8 月） 18 号（21 年 11 月） 75 号（26 年 8 月）	魅力ある店舗創出支援事業を活用した事例
77 号（26 年 10 月） 91 号（27 年 12 月） 95 号（28 年 4 月）	小規模事業者経営力強化支援事業補助金を活用した事例

魅力ある店舗づくりは、区内外から関心を呼ぶ！

繊維・ファッションの街を発信する「日暮里コレクション」

区は、平成 18 年度から“繊維の街・ファッションの街～日暮里”をアピールする「日暮里コレクション」を開催。毎年 11 月に全国から募集した「日暮里ファッションデザインコンテスト」の発表・表彰式と、中国・大連市中山区との交流イベント「大連コレクション in 日暮里」をファッションショー形式で同時開催し、今年 11 回目を開催します。

4 号（20 年 9 月）～ 55 号（24 年 12 月）は、毎年 11 月に開催された「日暮里ファッションデザインコンテスト」の入賞作品、表彰式と、ファッションショー形式の「大連コレクション in 日暮里」の記事を掲載。
平成 25 年以降、それらの関連情報は「あらかわ区報」で紹介しています。

「日暮里コレクション 2015」の様子

公衆浴場の振興のため、様々なイベント事業を展開

63 号（25年 8月）	荒川浴場組合が、区の少年野球大会の入賞チームに公衆浴場の入浴券を贈呈
88 号（27年 9月）	荒川浴場組合が、区内の銭湯を巡る「荒川銭湯スタンプラリー」を実施
	区役所 1 階ロビーで、下町情緒豊かな区内の銭湯を紹介する「あらかわ銭湯展」を開催

このほか、「正月朝湯」や「しょうぶ湯」などの季節湯や、「荒川銭湯寄席」「銭湯 de ころぱん体操」などの年間を通じてイベントを開催

あらかわの魅力 観光振興に新風

“おもてなし”役を果たす観光ボランティアガイドの活躍

「荒川区観光ボランティアガイド」は、平成 18 年度にスタート。養成講座を受講した応募者の中から区が認定、登録しています。ガイドの方々は、区内の観光ガイドを行うほか、区が実施する「奥の細道矢立初めの地・千住まちあるきツアー」などのイベントでも活躍し、観光振興や交流促進に貢献しています。

4 号（20 年 9 月）	「荒川区観光ボランティアガイド」3 期生を募集
16 号（21 年 9 月）	「荒川区観光ボランティアガイド」4 期生を募集
28 号（22 年 9 月）	「荒川区観光ボランティアガイド」5 期生を募集、22 年 3 月末で 64 人が登録
40 号（23 年 9 月）	「荒川区観光ボランティアガイド」6 期生を募集、23 年 3 月末で 72 人が登録
52 号（24 年 9 月）	「荒川区観光ボランティアガイド」7 期生を募集
平成 28 年 3 月末で、52 人が登録しています。	

活躍の場を広げたボランティアガイド

地域連携し、商店街、観光名所、ボランティアガイドが盛り上げる！

16 号（21 年 9 月）	都電荒川沿線ウォークラリー（荒川区・北区主催）を実施 ～広がる！ボランティアガイド活動、商店街の参加～
19 号（21年 12 月）	荒川区・台東区が共同企画、「日暮里・谷中散策マップ」を作成。 ～ぶらり！あらかわ、区境を超えた散策スポット～
29 号（22年 10 月）	南千住コツ通り商店街　「納涼盆踊り大会」 ～日本の下町を外国人観光客にも魅力をアピール～
31 号（22年 12 月）	都電荒川沿線ウォークラリー（荒川区・北区主催）を実施
34 号（23 年 3 月）	「都電沿線・日暮里・舎人ライナー沿線まちあるきマップ」作成
40 号（23 年 9 月）	都電荒川線 100 周年記念イベント～記念ツアーや都電サミット～
52 号（24 年 9 月）	コツ通り商店街「納涼盆踊り」に外国人観光客が参加
55 号（24年 12 月）	都電荒川沿線ウォークラリー（荒川区・北区主催）を実施
61 号（25 年 6 月）	第 5 回「あらかわバラの市」を開催～ " バラの市盛り上げ隊 " も参加～

外国人観光客も、下町の盆踊りを楽しむ！

平成25年度以降、これらの関連情報は「あらかわ区報」に掲載

JR 日暮里駅、JR 貨物隅田川駅、商店街との連携イベントも好評

25 号（22 年 6 月）	ＪＲ日暮里駅「駅からハイキング」（ＪＲ東日本主催）、区、地元商店街、観光スポット、ボランティアガイドが協力
31 号（22 年 12 月） 43 号（23 年 12 月）	ＪＲ貨物隅田川駅「貨物フェスティバル」イベントの開催～ＪＲ貨物と連携、区と地元商店街も協力～
46 号（24 年 3 月）	ＪＲ日暮里駅発着の「駅からハイキング」を開催
55 号（24 年 12 月）	ＪＲ貨物隅田川駅「貨物フェスティバル」を開催

平成25年度以降、これらの関連情報は「あらかわ区報」に掲載

新たな観光名所「モノスポ」は 31 か所に拡充

24 号（22 年 5 月）	「モノづくり見学・体験スポット（モノスポ）」を募集 ～ 22 年 3 月末 12 か所
34 号（23 年 3 月）	タイの視察団が荒川区の観光振興を視察・研修 ～モノスポの工房も訪問～
36 号（23 年 5 月）	「モノスポ」募集～ 23 年 3 月末 14 か所
40 号（23 年 9 月）	ＮＨＫテレビで放映される～人気スポット 3 か所を紹介
43 号（23年 12 月）	中国・タイ・ウクライナの視察団がモノスポを訪問
	区外向け PR イベント「あらかわモノスポ 2011」を JR 御徒町駅・秋葉原駅高架下の商業施設で開催
28 号（22 年 9 月）～ 58 号（25 年 3 月）の間、新規に認定された「モノスポ」を個別に紹介する記事を掲載。～ 25 年 3 月末 17 か所に増加	
64 号（25 年 9 月）	PR イベント「あらかわモノスポ 2013」予告
71 号（26 年 4 月）	「モノスポ」募集～ 26 年 3 月末 23 か所
77 号（26年 10 月）	PR イベント「あらかわモノスポ 2014」を開催
83 号（27 年 4 月）	「モノスポ」募集～ 26 年 3 月末 26 か所
87 号（27 年 8 月）	新企画「モノスポツアー」を開催
88 号（27 年 9 月）	5 周年記念の「あらかわモノスポ 2015」を開催
95 号（28 年 4 月）	「モノスポ」募集～ 28 年 3 月末 30 か所
99 号（28 年 8 月）	人気スポットを巡る「モノスポツアー」を開催

あらかわの新たな魅力「俳句のまち」を宣言

13 号（21 年 6 月）	奥の細道紀行 320 年記念 ～ゆかりの 28 自治体が連携事業を展開
75 号（26 年 8 月）	「奥の細道千住あらかわサミット」開催に向け、フォト俳句コンテストを実施
81 号（27 年 2 月）	「奥の細道千住あらかわサミット」を実施 ～荒川区産業展と同時に、記念イベントを開催～ ～「荒川区俳句のまち宣言」を発表
	荒川区産業展に、奥の細道ゆかりの 11 自治体が参加した「奥の細道物産展」を出展
83 号（27 年 4 月）	南千住に芭蕉像を建立

東京五輪を控え、外国人旅行者への PR を支援

80 号（27 年 1 月） 96 号（28 年 5 月）	区内の宿泊施設や飲食店などが外国人旅行者向けにパンフレット、ホームページ、メニュー表、案内板など作成する際、その費用の一部を補助する事業を開始

準備中 !! 日暮里、南千住に観光案内所を新設

28 年 9 月	日暮里駅構内に「観光案内コーナー」（仮称）を開設 ～国内外の観光客向けに、あらかわの観光情報を内外に広く発信～
	南千住地域に、「観光情報提供サロン」を開設し、係員を配置。 ～訪日外国人向け宿泊施設情報の提供を含め、あらかわの観光情報を来訪者に提供～

「俳句のまちあらかわ」の魅力をカタチに！

PR商品開発を支援

～補助金制度を新設～

区は、「俳句のまちあらかわ」に関連したPR商品の開発に係わる経費の一部を補助する「俳句のまちあらかわPR商品開発支援事業補助金」を新設し、受付を開始しました。

PR商品とは、「俳句のまちあらかわ」にふさわしい俳句文化の魅力の発信につながる工夫が施されている新開発の商品で、区内の店舗及び区内外のイベントなどで継続して販売できる商品です。

～28年度分を受付中～

【対象者】区内に本社または支店を有する事業者。
【対象経費】商品開発に係わる専門家謝金、試作に係わる商品パッケージの印刷製本費・原材料費など（詳細はお問合せください）
【補助額】対象経費の2分の1（上限は25万円）
【募集期間】平成29年1月31日（火）
（商品開発は28年度中に終える必要があります）
【申込み方法】所定の申請書（区役所6階の観光振興課で配布）に記入のうえ、必要書類を添えて、持参または郵送でご提出ください
【問合せ】観光振興課　TEL（3802）4689

あらかわモノスポ2016

【日時】10月8日（土）～10日（月・祝）
午前11時～午後7時　＊最終日は午後5時まで
【会場】2k540　AKI-OKA　ARTISAN（アキオカ　アルチザン）
（台東区上野5-9-23）（JR秋葉原～御徒町駅間の高架下）

スポット名称	出展・体験内容出展	8日（土）	9日（日）	10日（月）
㈱クボタ	皮革小物の展示・販売、制作体験	○	○	○
手書き友禅 笠原以津子	手書き友禅作品の展示・販売、制作体験	○	―	○
専門学校 東京ニットファッションアカデミー	ニット作品の展示・販売、ニット編地と製作工程の写真展示、制作体験	○	○	○
㈱東京ベル製作所	自転車用ベル・熊避け用ベルの展示・販売、制作体験	○	○	○
尚呼	装身具の展示・販売・実演、制作体験		○	○
バッグ工房 ヴィドゥルス	バッグ・鞄・小物の展示・販売、制作体験	○	―	
plus Orange	紙雑貨製品の販売、制作体験	○	○	―
㈱マツダ自転車工場	オーダーメイド自転車の展示、試乗体験	―	○	○
MISAWA & WORKSHOP	革靴の展示・販売	―	―	○
らんぷ家	トルコランプの展示・販売、制作体験	○	○	―

（注）体験の実施時間、費用などは区のホームページをご覧ください
【問合せ】観光振興課　TEL（3802）4689

「あらかわモノスポ2016」を開催

〝モノづくりをテーマにした街〟として知られる「2k540　AKI―OKA　ARTISAN」（略称2k540）で、区のモノづくり見学・体験スポット（モノスポ）をアピールする「あらかわモノスポ2016」を10月8日（土）～10日（祝）に開催します。製品の展示・販売や職人によるモノづくりの実演などを行います。

製造工程や職人技をPR

区では、区内のモノづくりを多くの方に知っていただくために、製造工程の見学や製作体験ができる工場・工房を「モノづくり見学・体験スポット」としてご紹介しています。今回は区外向けPRイベントを通じて、モノスポの情報を積極的に発信し、周知度を高めます。

昨年開催の様子

ものづくり・匠の技の祭典2016

盛況でした！

“伝統と革新”をテーマに、東京都などが初開催

日本を代表する伝統的な匠の技と、最先端のものづくりの魅力を発信する、初の「ものづくり・匠の技の祭典2016」が8月10～12日に東京国際フォーラムで開催され、多くの入場者でにぎわいました。

祭典は東京都をはじめ、中小企業団体や伝統工芸業界が「ものづくり・匠の技の祭典2016実行委員会」を結成して開催。“伝統と革新”をテーマに、建築大工、和・洋裁、日本料理、金属加工など約40職種・100超の団体・企業がブース出展しました。

会期中は、47都道府県の逸品の紹介・販売のほか、NHK大河ドラマ「真田丸」の題字を手掛けた左官職人の実演や、日本建築を組み上げる「棟上げ」、きものファッションショー、茶道や生け花の体験など様々な匠の取り組みが紹介されました。

「棟上げ」の実演

「地域の匠」に荒川マイスターの渡部さん

この祭典では、地域で活躍し、優れた技能を有する方を「地域の匠」として認定し表彰する制度が創設され、都内の9区市・9人が8月12日に表彰されました。区内からは荒川マイスターで寿司処「江戸翔」（荒川2丁目）店主の渡部昭彦（わたなべ・あきひこ）さんが受賞しました。

渡部さんは、40年以上寿司職人として活躍し、伝統的な寿司の握りに加え、創作寿司の調理に卓越した技術を持ち、後継者の育成にも熱心です。「地域の匠」に認定された渡部さんは「重みのある表彰をいただき、たいへんうれしい」と話していました。

表彰された渡部さん（左）

【問合せ】経営支援課経営支援係　TEL（3802）4808

荒川銭湯スタンプラリー

10月17日から2か月間、「荒川銭湯スタンプラリー」を開催します。

期間中、区内の銭湯2か所で入浴し、スタンプ2個を集めた方に各銭湯で種類の違う特製缶バッジを差し上げます。

いろいろな種類の缶バッジを集めよう！　何度でも参加可能

【期間】10月17日（月）～12月18日（日）
【対象】小学生以上
【内容】スタンプカードは区内銭湯などで配布（詳細はスタンプカードに記載）
【景品】特製缶バッジ

個性豊かな銭湯の“のれん”を紹介

「あらかわ銭湯展」無料

サンパール荒川で、9/29（木）まで

ノスタルジックな昭和の「のれん」から現代的な「のれん」まで、様々な「のれん」を展示しています。

【主催】東京都公衆浴場業生活衛生同業組合荒川支部
【問合せ】産業振興課　消費生活センター
TEL（3802）4673

新規「年末資金融資」をあっせん

区内の中小企業向けに、年末の「季節資金融資」のあっせんを行います。

金融機関で融資が実行された場合、区が金利の一部と信用保証料の全額または一部を補助します。季節資金融資のご利用は、原則として夏季・年末・年度末融資のいずれか年1回です。

【申込み期間】10月11日(火)～11月30日(水)
【限度額】500万円（運転資金）
【金利】年1.9%のうち、事業者負担0.5%、区負担1.4%
＊詳細はお問合せください。
【問合せ】経営支援課融資係
TEL（3802）4684

「マイタウン就職面接会」参加企業を募集　参加無料

荒川区では、ハローワーク足立や足立区と共同で、第41回「マイタウン就職面接会」を開催します。

求人予定のある企業を募集しています。申込方法や参加要件については、お問合せください。

業種、職種は問いません

【日時】11月16日（水）午後1時30分～4時
【会場】天空劇場
（足立区千住1-4-1東京芸術センター21階）
【応募締切】10月14日（金）
【申込み・問合せ】　ハローワーク足立
事業所第二部門
TEL（3870）8895　FAX（3870）8612

人キラリ

現場に立つ新世代<20>

泪橋大嶋屋は、創業103年を刻む江戸手描き提灯の老舗店です。提灯文字の工房として知名度は高く、多くの観光客や見学者が訪れる有名な「モノづくり見学・体験スポット」のひとつ。村田さんは4代目。後継者不足が深刻な提灯業界にあって、数少ないプロの若手職人。自ら進んで家業の提灯文字描きの道を歩み、江戸文化を21世紀に活かす想いを心に秘めて、技能の修業に打ち込んでいます。

村田（むらた）　健一郎（けんいちろう）さん（29歳）泪橋大嶋屋（なみだばしおおしまや）（南千住2丁目）

提灯文字職人

江戸文字を現代に描き込む提灯（ちょうちん）づくり

生粋の荒川人。子どもの頃から「手に触れるモノづくりが好き」で、地元の航空高専（現・東京都立産業技術高等専門学校）の航空工学科を卒業すると、迷うことなく家業に就いて、提灯文字の技能習得に努め、黙々と製作実績を積み上げてきました。

提灯文字は、細い割竹を丸くして和紙を貼った火袋（提灯）に文字や紋を描く技法。描き入れる江戸文字は、楷書を基本として太く描くので、力強く、遠くからも読みやすいのが特徴です。文字を描く場合は、筆で一気に描くこともありますが、大抵は当たり（下書き）を参考に、面相筆で輪郭を素描きし、その中に墨や色彩を塗り込んで仕上げます。「枠の線をなくして大き目の字体にし、ハネやはらいにメリハリをつけて、のびのびとしたイメージにする」のが大嶋屋流。

伝統の技を手ほどきする師匠は、父で泪橋大嶋屋3代目店主の村田修一さん。区の無形文化財保持者で、提灯文字の第一人者といわれる師匠と、同じ工房を仕事場とし、様々な形とサイズの提灯に文字や紋を描く作業を通じて、匠の技の伝承が進められています。

4代目は間もなく、修業10年目。プロとしての新たな領域を目前に、改めて江戸文字の研究を深め、平仮名や家紋の描き方を勉強中とか。休日には友人と野球を楽しみつつ、「提灯の“光り輝く”魅力を高め、お祭りやお祝い用をはじめ、新たな分野の用途を開く技量を身につけたい」との気概をみせています。

文字描きに余念がない村田さん